

あなたの身近な相談相手

地域を見守る民生委員



民生委員とは？

厚生労働大臣が委嘱するボランティアで、児童委員も兼ねます。任期は3年で、市内では34地区、750人が活動しています*。支援が必要な地域住民を見守り、相談を受けて関係機関につなぎます。*令和7年4月1日時点

民生委員は関係機関へのつなぎ役！



子供の見守り活動

子供の登下校時に見守り、声を掛けます。悩みごとの相談に乗ることもあります

訪問・安否確認・相談

高齢者や障害がある方、子育て世帯のお宅を訪ね、困りごとを確認します

行政機関との連携

赤ちゃんに絵本を直接届ける「うぶごえへの贈りもの」など、市の事業に協力しています

関係機関とのつなぎ役

困っている方を専門機関につないだり、福祉サービスなどの情報提供を行います

居場所づくり・仲間づくり

高齢者や子育て世帯などを対象にした、地域のサロン活動に協力します

民生委員改選

12月に民生委員・児童委員の全国一斉改選があります



今年度は3年に1度の改選期です(再任可)。福祉活動やボランティア活動に理解と熱意がある人が地域から推薦され、附属機関の審議を経て国から委嘱されます。年齢や地域の実情把握等に関する一定の要件があり、推薦前に本人への意思確認を行います。委員就任に関する打診を受けた際は、ぜひお引き受けくださいますようお願いいたします。

【詳細】福祉保険課 25・6425

ICTを活用した市の事業

民生委員がより活動しやすくなるよう環境を整備します

こんな取り組みも始めています



市では民生委員の担い手確保に向け、幅広い年齢・様々な立場の人が少ない負担で充実した活動ができるよう、ICTを活用した環境整備を段階的に進めています。

これにより、これまで手書き等で対応していた活動記録の電子化や、Web上の専用相談掲示板での委員のやりとりによる疑問点の解消等が可能になります(上画像)。

なお、次期委員改選、AIの活用を含む民生委員の活動支援の取り組み等に関する動画を右の二次元コードからご視聴いただけます。



YouTube

地域で活躍する民生委員に聞いてみました！

「大きな「プラス」を感じて活動しています」

どんな活動をしているの？

民生委員を始めたきっかけは、町内会の方からお声がけいただいたことでした。「どんな活動をやればいいのか」は先輩方が親切に教えてくれて、一人ではなく地区の仲間がいるので安心でした。活動を続けていく中で、顔を覚えてくれる方も増え、今では頼りにされることにやりがいを感じます。ある時「近くに住んでいる方が急遽入院したが、ストーブがつきっぱなしで火事の危険があり、どうしたらいいだろうか」と、歩くのもやっとの高齢の方が直接相談に来られたことがあり、関係者と協力してストーブの火を消して、関係機関につなぎました。私たち民生委員が、地域のつながりの中心として欠かせない存在だということとして印象に残っています。活動には、時間や労力を使うこともありますが、私にとってはそれ以上のプラスを得られています。普段は平日の週4日間、9時～17時まで働いていて、仕事中に電話がかかってくることもありますが、休んで対応が必要なことはほぼなく、プライベートの時間も十分にあり、出来る限り続けていきたいと思っています。



この地区担当
河野 恵美さん (62歳)
民生委員経験14年4か月
職業：団体職員

春光中央地区担当



たざわ じゅんこ
田澤 淳子さん (44歳)
民生委員 (主任児童委員)
経験2年 職業：保育士

「子育ての経験を活かせる場なんです」

私は「主任児童委員」として、主に赤ちゃんが産まれたご家庭に絵本を配布する活動をしています。ただ配布するだけでなく、同時に親御さんの体調や困り事も聞いてみえています。子育て時の孤立を防げるよう、少しでも不安解消のお手伝いをしたい思いがあるんです。私自身、子育てに苦労した経験があるので、悩む親御さんに寄り添い、お力になればなと思っています。お話しした方からは「元気をもらえる」と言ってくれていますが、実は人見知りな性格ではなく、その改善も委員になった理由でした。大切にしているのは「できる範囲のことをやる」ことです。何よりもまず自分が元気に明るくいられないと本末転倒です。活動は、仕事が休みの日や夕方など空き時間に行うので、負担は感じていません。仲間がサポートしてくれて、研修体制も整っているし、いろんな方と交流できて楽しいです。お声がかかって引き受けるか迷ったときには「あまり真面目に頑張りすぎると続かせませんし、自信がなくても大丈夫」とぜひ教えてあげたいですね！

民生委員の活動をPRする独自事業

小学生による作文コンテスト

新しい取り組みを進めています



最優秀賞 岩内 愛莉さん

市内の全委員で構成する旭川市民生委員児童委員連絡協議会では、委員を身近に感じ、支え合う住みよい地域の実現に向け、小学5・6年生を対象とした作文コンテストを行っています。第2回となる令和6年度は永山西小学校6年(受賞当時)の岩内愛莉さんが最優秀賞に輝きました。

岩内さんは「両親が小さい頃の自分の映像を見て『どんな日も宝物』と母が言ってくれた出来事を思い出して、普段は恥ずかしく言葉にできない、家族を大切に特別な存在と感じている自分の思いを書きました」と話してくれました。

春光西地区担当 (地区会長)



やりがいを感じて楽しく
キーワードは「良い加減」

旭川市民生委員児童委員
連絡協議会会長
さがわ とおる
佐川 徹さん (76歳)
民生委員経験38年4か月

民生委員は厚生労働大臣から委嘱を受ける「非常勤特別職の地方公務員」です。守秘義務があり安心してご相談いただけますが、直接的に問題解決する立場ではなく行政や関係機関との「パイプ役」とご理解ください。各地区からの推薦を受け委員になっていただきますが、選ばれたからといって思い詰めて気負う必要はなく、仕事と両立させる委員も大勢います。仕事や生活と「良い加減」にバランスをとることを推奨していて、むしろ私のように多少「イイカゲン」な方が向いているくらいなので(笑)、地域から委員就任に関して声をかけられた際には前向きなご検討をお願いします。